

令和7事業年度

事業計画書

公益財団法人 周南市文化振興財団

令和7事業年度 事業計画書

1. 基本方針

周南市文化振興財団は地域文化振興の使命と役割を担い、指定管理者制度のもと周南市より委託を受け、平成18年度から周南市文化会館、周南市美術博物館、平成20年度から周南市郷土美術資料館の指定管理者として管理運営を行ってきた。令和3年度より新たに5年間の指定管理業務を受託し、本年は最終年の5年目となる。引き続き周南市のさらなる文化活性化のためその任を果たしていく。

また平成25年4月に公益財団法人に移行し12年目となる。公益性を求められる法人として、目的に沿った法人運営の重要性を認識し、市民のニーズをいち早く取り入れ、各館の特性を生かした管理運営を行い、地域の文化活動の拠点として活動を行っていく。

令和5年度に発覚した不祥事に関しては、引き続き組織の改善を進め再発防止に努めるとともに、信頼回復にむけて業務に邁進する。

事業においては、各館を中心に鑑賞機会の提供、市民文化活動の振興など幅広い文化事業を通じて、文化の普及、推進に努める。中学校部活動の地域移行に際し「(仮称)周南かるちゃあサポートセンター」を開設し、中学生はもとよりあらゆる世代の文化活動起点として、周南市全域を対象に文化団体との連携を重視した活動に励み、豊かな文化環境をつくる。

財団設立以来培った実績と経験をもとに、様々なネットワークを生かして運営を強化し、利用者のサービス向上に努める。またより一層の効率化を進め、自立した経営を目指す。

2. 周南市文化会館

(1) 管理運営

開館43年を迎える文化会館は、西日本を代表するホールとしての機能を十分に発揮し続けるために、中四国でも高い利用率と集客力を維持し、多彩で豊富な舞台公演で注目されるよう努力を続ける。周南市の文化の顔に相応しい施設として、また利用の促進を図るために、各室の環境整備や貸出備品の更新等の改善を市に積極的に提案していく。令和9年2月から予定されている大規模改修については、利用者の利便性が高まるよう市に対して助言を行っていく。

(2) 文化会館事業

ア. ホール事業

市民の声を生かし、幅広く質の高い舞台芸術を提供する。これまでのノウハウに加え、さらなる工夫と熱意をもって事業の推進を図る。ニーズにあった公演をいかに効果的に組んでいくかが重要である。

クラシックでは「清塚信也 with NHK交響楽団メンバー」、「西京コンサート ジョセフ・ヴィンセント指揮 スペインADDA交響楽団演奏会」、ベルリン・フィル第1コンサートマスター榎本大進

とベルリン・フィルメンバーによる「樫本大進、ベルリン・フィル八重奏団（仮称）」などの開催を予定している。

安定的な人気を維持する吹奏楽では「yab吹奏楽コンサート」、伝統芸能では「中村勘九郎 中村七之助 新緑歌舞伎特別公演2025」「新・純邦楽ユニットWASABI」ポップス分野では「沢田研二」、子ども向けとして「プリキュアドリームステージ」「仮面ライダースーパーライブ」など魅力的なラインナップで臨む。

その他「THE北島三兄弟」「キークラシック・バレエ 白鳥の湖」「ムノツイル・プラス」など幅広いジャンルで多彩な内容を取り上げる。

イ. 企画事業

開館以来、文化の普及をめざし音楽や演劇などとの出会いを提供、生活の中に芸術文化を根付かせることができるよう様々な事業を実施してきた。

将来的にホールへの来館や文化活動への参加に結びつけるための事業として、舞台芸術を地域や学校に届ける「移動文化教室」を実施する。学生時代に本物の芸術にふれる機会を提供する「周南市中学校芸術鑑賞会」は、周南市中学校文化連盟と連携して「劇団四季 こころの劇場」の開催を予定しているほか、ホールで開催するコンサートや公演などをより楽しく鑑賞するための「芸術鑑賞講座」を実施する。また地元音楽家を起用した独自公演、親子で楽しめる「0歳から楽しむコンサート」、会員招待演奏会「カーテンアップコンサート」を行う。

特色のある事業として周南市出身の詩人、まど・みちおの世界を伝える「第30回まど・みちおコスモス音楽会」を開催する。

文化振興財団会員については、継続率とともに事業への参加率を高め、舞台芸術、鑑賞芸術に対するサポーターづくりにつなげる。月刊紙「かるちゃあ通信花鳥」は、山口県全域を対象に幅広い文化情報を提供する。

令和8年度に本格的にスタートする中学校部活動の地域移行に向け、「(仮称)周南かるちゃあサポートセンター」を開設し登録団体の紹介や文化活動体験会等を通して、子どもたちの「やってみよう」をサポートしていく。

ウ. その他

子どもからお年寄りまでのあらゆる世代の事業を実施し実績を積んできた経験を生かし、地域の学校や市民センター、新聞社や放送局、地元企業など様々なネットワークを広げ、事業運営を安定させる。

ホール事業一覧

(公益目的事業1-1)

事業名	開催日	内容
清塚信也 with NHK交響楽団メンバー ～カラフル・ミュージック・ツアー～2025	4月19日	NHKクラシックTVでおなじみのピアニスト清塚信也が、N響メンバーとクラシックの名曲から話題のドラマのサントラ曲まで、幅広いジャンルの音楽をトークと共にお届けする。
沢田研二 LIVE 2025 「霜柱と蠟梅の森」	4月20日	75歳を過ぎた今でも現役のロックシンガーとして全国各地でコンサートツアーを開催する沢田研二の待望の周南公演。
北島三郎リスペクトコンサート 「THE 北島三兄弟オンステージ」	4月27日	北山たけし&大江裕によるユニット“北島兄弟”にコロクックが加わって生まれた“北島三兄弟”が繰り広げる、歌とトークのバラエティーショー。
中村勘九郎 中村七之助 新緑歌舞伎特別公演2025	5月11日	人気の歌舞伎役者、中村勘九郎、中村七之助を中心に、中村屋一門が毎年行う全国巡業公演。
ウィーン少年合唱団2025 生誕200周年記念 シュトラウス ・フォー・エバー!	5月15日	《天使の歌声》と称される伝統ある少年合唱団。ウィーン国立歌劇場やザルツブルク音楽祭、ウィーン・フィルのニューイヤーコンサート等への出演を重ねるほか、世界各国で演奏活動を行う。
ディズニー・オン・クラシック ～夢とまほうの贈りもの2025～	5月17日	ディズニー・アニメーションや映画、テーマパークの音楽を、ヴォーカルとオーケストラの生演奏で贈るライブエンターテイメント。
新・純邦楽ユニットWASABI 15th Anniversary “Open the Door”	6月1日	吉田兄弟の兄、吉田良一郎プロデュースの邦楽ユニット。津軽三味線、尺八、箏、太鼓の4人の奏者が新感覚のグルーブを生み出す。
千昌夫・新沼謙治・中村美律子 ～三人の歌のステージ～	6月9日	千昌夫、新沼謙治、中村美律子の、人気演歌歌手3人による揃い踏み公演。特別ゲスト原たかし。
A I 25th best tour ←ALIVE→	7月12日	シンガー、ダンサー、ソングライター、プロデューサーとして活躍。25周年記念ベストアルバム『25th THE BEST-ALIVE』を携えての全国ツアー。
春風亭一之輔 (仮称)	9月13日	「笑点」の大喜利メンバーとして活躍する人気落語家の公演。
高嶋ちさ子(仮称)	9月15日	高嶋ちさ子を中心に12人のヴァイオリニストが、クラシックの名曲など様々な曲をトークを交えて演奏する。
キーウ・クラシック・バレエ 白鳥の湖—全2幕—	10月9日	1982年に設立されたキーウ市立アカデミー・オペラ・バレエ青少年劇場を母体とするバレエ団で、海外公演時のバレエ団として組織されていたが、評判を呼び団体として独立。白鳥の湖全2幕を上演。
西京コンサート ジョセフ・ヴィンセント指揮 スペインADDA交響楽団演奏会 (仮称)	11月1日	ジョセフ・ヴィンセント指揮スペインADDA交響楽団がギターソロに村治佳織を迎え、ギターの名曲ロドリゴ「アランフェス協奏曲」、ラヴェルの「ボレロ」などを演奏。
葉加瀬太郎 (仮称)	11月23日	恒例の全国ツアー。毎回違ったパフォーマンスで観客を楽しませてくれる。
ムノツイル・ブラス (仮称)	11月24日	ウィーンで結成されたエンターテインメントブラスアンサンブル。クラシックをはじめとしたあらゆるジャンルの音楽を、超一流の演奏テクニックと型破りなパフォーマンスで演奏する。

松浦航大&よよよちゃん (仮称)	12月7日	歌まねで知られる2人のものまねタレントのライブ。レパートリーはゴールデンボンバー、玉置浩二、福山雅治、椎名林檎、宇多田ヒカル、中島みゆき、松任谷由実など。
プリキュアドリームステージ (仮称)	1月17日	テレビ朝日系列で放送中の人気アニメ「プリキュア」のステージショー。
yab吹奏楽コンサート(仮称)	2月	全国的に大ブームの吹奏楽コンサート。
榎本大進、 ベルリン・フィル八重奏団 (仮称)	2月20日	ベルリン・フィル第1コンサートマスターをつとめる榎本大進を加えたベルリン・フィルメンバーによる八重奏団。
仮面ライダースーパーライブ (仮称)	3月8日	仮面ライダーのキャラクターショー。家族揃って楽しめるステージショー。

企画事業一覧

(公益目的事業1-1)

事業名	開催時期	内容
移動文化教室	7～12月	学校や地域と連携して音楽演奏会などの文化芸術を届ける事業。
出光コンサート	7月5日	出光興産(株)の提供で実施。若手音楽家を起用した演奏会。
サロンコンサート	7月13日	普段コンサートに参加しづらい幼児ファミリー向けクラシック演奏会「0歳から楽しむコンサート」を実施する。地元音楽家を起用、一般も鑑賞可能。
第30回 まど・みちおコスモス音楽会	11月14日	周南市出身の詩人まど・みちおの詩と歌で構成するコンサート。市内幼稚園、保育園年長児の合唱と、地元音楽グループによる創作舞台で構成。
会員招待演奏会	1月31日	周南市にゆかりのある若手演奏家によるコンサート「カーテンアップコンサート」を開催。

(公益目的事業1-2)

事業名	開催時期	内容
芸術鑑賞講座	9月～10月	ホール事業で開催する演奏会や公演の内容を解説する講座。音楽や演劇等の楽しみ方を知ってもらう。
周南市中学校芸術鑑賞会	10月8日	周南市中学校文化連盟と共催。劇団四季のミュージカルを鑑賞。
バックステージツアー	1月31日	オーケストラピットや調光室、奈落や楽屋などふだん見られない舞台裏を案内する。
情報紙発行 「かるちゃあ通信・花畠」	月1回	文化会館、美術博物館、郷土美術資料館の自主事業や催し、後援事業を案内。8,000部程度発行。
会員の運営	通年	会員の確保並びに運営。

(法人)

事業名	開催時期	内容
(仮称)周南かるちゃあ サポートセンター	通年	市内中学校、文化系クラブ活動の地域への移行を支援するセンターの運営。

3. 周南市美術博物館

(1) 管理運営

平成7年に開館した美術博物館は、本地域における文化の拠点施設としてその重責を担っている。開館30年を迎え、これまで以上に地域に密着した親しみやすい館として市民の期待に応えていくための運営を行い、諸整備を進める。

特に、国宝を展示、保管できる登録博物館として貴重な美術作品・歴史資料を収蔵、展示することから、適正な保存、展示環境の維持管理、保安警備には万全の体制で臨む。また、より良い環境を目指すため施設の改善について市に提案し整備を進めており、今年度は吸収式冷温水器の改修工事が計画されている。

そのほか「博物館法の一部を改正する法律」により、令和5年から新たな博物館登録制度に移行したことから、登録手続きに向けての準備を進めていく。

グッズ売場ではオリジナル商品の販売、展覧会開催時にはそれに合わせ人気の高い商品を仕入れるなど、品揃えを工夫する。喫茶事業においても展覧会や季節に合わせたメニューの提供など、来館者のニーズに応えつつ市民や来館者にとって憩いの場、安らぎの場となるよう努める。

「美術博物館の音楽会」として親しまれているサロンコンサートについては、平成11年度から開催し好評を得ており、美術博物館に親しんでいただくひとつの機会として実施する。

(2) 美術博物館事業

ア. 展覧会事業

周南市からの受託事業である特別展覧会と周南市美術展、並びに財団の特性を生かした自主事業である企画展覧会を積極的に展開する。

特別展覧会「やなせたかし展 人生はよろこばせごっこ」では、2026年に開館30周年を迎えるやなせたかし記念館からの原画を中心に展示し、様々なクリエイターの顔を持つやなせの幅広い創作活動と、「人生はよろこばせごっこ」の信念を貫いた人生を振り返り、人々に勇気を与え続けている創作世界に迫る。

「周南市美術展」では、より多くの市民に、気軽に参加できる総合美術展として一層の普及を図る。

企画展では、写真展「オードリー・ヘプバーン」を開催し、1950～60年代のオードリーの姿を中心に、ハリウッドで活躍したフォトグラファーによって撮影された写真を展示する。今もなお人々を魅了するオードリーの生き生きと輝く姿を紹介する。

イ. 企画事業

資料の収集、保存管理、調査・研究、展示公開、教育普及等が円滑に機能する運営を図る。

常設展示室については、収蔵資料を展示する「コレクション展示室」、写真家・林忠彦の業績を顕彰する「林忠彦記念室」、徳山地域の歴史を通観する「徳山の歴史」、まど・みちおの絵画作品や資料を紹介する「まど・みちおコーナー」で、それぞれの特徴を生かしながら内容の充実を図る。資料の調査・研究については、郷土に関わりのある作家や資料を掘り起こし、将来の資料収集や展覧会開催に備える。また、令和7年が戦後80年にあたることから、周南市からの受託事業として、戦争体験等映像記録の制作を行う。教育普及事業では、美術博物館講座として「子ども芸術ワークショップ」「美術博物館探検ツアー」などを実施し、美術や歴史さらに博物館事業全体に興味をもってもらうよう働きかける。

このほか支援組織の育成、情報の収集・提供についても積極的に推進し、地域とのネットワークづくりに努める。

特色のある事業については、林忠彦賞の運営を中心に、林忠彦記念室とも連携を図りながら情報発信に努め、創設時から標榜している「写真のまち・周南」の全国発信とともに、授賞式と受賞記念写真展を周南で開催し、地域での定着を図っていく。また「まど・みちおコーナー」を拠点に、引き続きまど・みちおを顕彰する事業や研究を推進するほか、全国への発信にも努める。

ウ. その他

美術博物館の活動に関心をもってもらうために、事業実施にあたってはマスコミ等に周知する。また美術博物館、林忠彦賞、重点作家の宮崎進やまど・みちおのホームページを管理し、SNSを通じて、随時最新のスケジュールや活動状況を紹介する。

4. 周南市郷土美術資料館

(1) 管理運営

平成7年に開館した郷土美術資料館は、開館30年を迎える。画家・尾崎正章の業績を顕彰する施設として、作品の研究、保存、公開と地域文化の振興を目的に活動してきた。過去の実績のうえに、周南市美術博物館で蓄積したノウハウや永源山公園内という立地上の特色を生かし、芸術を身近に感じることができる事業運営を行う。貴重な美術作品を収蔵、展示することから、適正な保存環境の維持管理、保安警備に対して万全の体制で臨む。

(2) 郷土美術資料館事業

常設展は、尾崎正章の業績を顕彰するため、テーマを設けて作品を紹介する。企画展は、地域ゆかりの様々な芸術を紹介する展覧会を開催する。その他、市内の個人、団体並びに小・中・高及び幼稚園、保育園等を対象とした展覧会を誘致し、地域の芸術や造形教育の振興を図る。

施設の特性を生かし、ワークショップ、生演奏や懐かしいレコードを利用したコンサートなど、館をより身近に感じてもらう事業に取り組む。

展覧会事業一覧

(公益目的事業2-1)

事業名	会期	内容
第33回林忠彦賞 受賞記念写真展	4月26日 ～ 5月11日	林忠彦賞の受賞作品を展示する。受賞作は林忠彦コレクションの中で永久保存する。 前回から授賞式を周南市で開催している。
写真展「オードリー・ヘプバーン」	6月27日 ～ 8月31日	数々の名作映画で主演を務めたオードリー・ヘプバーンは、同時代のファッションアイコンとしても名を馳せた。晩年はユニセフ特別親善大使として精力的に活動するなど、自分らしさを大切に彼女の姿は、現在も多くの人々に影響を与え続けている。 「ファッション」「映画」「プライベート」をテーマに、ハリウッドで活躍したフォトグラファーによって撮影された写真約150点を展示し、今もなお人々を魅了するオードリーの生き生きと輝く姿を紹介する。
周南市美術展	前期 10月15日 ～10月19日 後期 10月22日 ～10月26日	周南市に在住、または通勤・通学・文化講座・文化団体に所属する人を対象とした総合美術展。 平面、立体、書、写真の4部門で作品を募集する。
周南市学校美術展	10月31日 ～ 11月3日	周南市の幼稚園・保育園、小中学校の園児、児童、生徒による選抜美術展。
「やなせたかし展 人生はよろこばせ ごっこ」	11月14日 ～ 12月28日	様々なクリエイターの顔を持つやなせたかしの幅広い創作活動と、過酷な戦争体験、家族との別れ、様々な人との出会いに揉まれながらも「人生はよろこばせごっこ」の信念を貫いた人生を振り返り、人々に勇気を与え続けている創作世界に迫る。 2026年に開館30周年を迎えるやなせたかし記念館からの原画約200点を中心に展示。

企画事業一覧

(公益目的事業2-1)

	事業名	開催時期	内容
常設展示室	コレクション展示室	通年	収集資料及び関連資料の展示 企画展示室を補う第二会場
	林忠彦記念室	通年	林忠彦の芸術を顕彰 オリジナルプリントの展示替
	徳山の歴史	通年	特設コーナーの運営 実物資料の展示替
	まど・みちおコーナー	通年	まど・みちおの芸術を顕彰 絵画作品、資料の展示替

(公益目的事業2-2)

	事業名	開催時期	内容
	資料の調査・研究	通年	美術博物館資料の調査と研究 資料の研究成果の発表、紀要の作成
	研究成果の蓄積・活用	通年	資料調書・台帳の整備、収蔵目録の作成 資料の貸出、著作権の管理
	戦争体験等映像記録	通年	周南市出身者の戦争体験等取材し、映像資料として記録する

(公益目的事業2-3)

	事業名	開催時期	内容
	美術博物館講座	随時	子ども芸術ワークショップ 美術博物館探検ツアー (美術博物館の裏側を探検し魅力をPR) 各種講座の開催 (美術・歴史講座、まど・みちおを語る講座等)

(公益目的事業2-4)

	事業名	開催時期	内容
	林忠彦賞の運営	通年	「社会は心を撃つ写真をさがしています」のキャッチフレーズのもと、その時代を最も象徴する写真作品を全国に発信する。写真界で活躍する作家の発掘を目指す。林忠彦記念室と一体的な運営を図る